

vol. 47

The News Letter

2023 SUMMER

一般社団法人 日本歯科審美学会

General Incorporated Association Japan Academy of Esthetic Dentistry

巻 頭 言

理事長就任ご挨拶

一般社団法人日本歯科審美学会 理事長 山本一世



日本歯科審美学会会員の皆様、平素より学会活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。小生、本年6月の定時社員総会におきまして、大槻昌幸前理事長の後任として本学会理事長を拝命いたしました。微力ながら会務遂行に精励する所存ですので、会員の皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年12月に確認され、その後瞬く間に世界中に拡散した新型コロナウイルス感染症が、わが国においてもようやく終息の兆しがみえてきました。約3年という想定外の長期間、様々な社会活動が著しい制約を受けてきましたが、いよいよそこから脱却して再スタートする時期が来たことは、誠に嬉しい限りです。本学会においても今年12月9日(土)・10日(日)に西谷佳浩大会長、星加知宏準備委員長のもと、第34回学術大会が鹿児島において全面的な対面で開催されることとなり、多くの方々が楽しみにしておられることと存じます。今後は各種の講習会や会議なども順次、対面開催を検討することになると思いますが、それと同時にコロナ禍のケガの功名ともいべきITの活用についても考慮する余地があるものと考えています。さらにコロナ禍においては世界各国でオンライン診療の規制が緩和されましたが、この診療形態はとくに精神科医療やプライマリケアとの相性がよく、これらの領域が予期せぬ進歩を遂げているようです。審美歯科領域においても通院不要なオンラインによるホワイトニングなどが見受けられるようになり、中には「？」と感じるものも無きにしも非ずですが、きちんとしたルールの下で行えば患者さんにとって受診しやすい診療形態として発展しうる可能性もあり、これについても会員の皆様と考えていきたいと思えます。

またマスク着用が常態化した影響で、「マスクを外すのが怖い」「素顔を知られるのは恥ずかしい」という声も聞かれます。しかし「明眸皓齒」の四文字熟語が示すとおり、口元は目元と並んで顔貌を形づくる二大要素であり、コミュニケーションの上でも表情はとても大切で、「マスク美人」というのはあまり好ましい表現ではないと感じます。afterコロナの今こそ、多くの人々が自分の口元に自信を持てるよう、本学会が先導して良質な歯科審美の普及に努め、国民の口腔保健の向上に貢献していこうではありませんか。

第34回日本歯科審美学会学術大会のご案内

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科保存学分野 大会長 西谷佳浩



第34回日本歯科審美学会学術大会は、かねてからご案内のように本年12月9日(土)、10日(日)の両日に鹿児島市にある川商ホール(鹿児島市民文化ホール)で開催いたします。

ここ3年猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症も本年5月8日以降、感染法上の位置づけが5類に変更される等、落ち着きを見せ始めております。しかしながら、医療従事者として引き続き感染症対策を念頭に置いて、学術大会運営を行ってまいります。その一環として、会場での感染対策を徹底した現地開催に加え、後日オンデマンド視聴を行える準備をしております。

現時点で決定している企画として、特別講演に明海大学歯学部名誉教授の片山直先生を迎え、『歯科審美における色彩研究(仮題)』についてご講演いただきます。またスペシャルセッションとして、日常の歯科審美治療を行う上で生じる疑問について、保存修復、補綴、矯正、歯科技工、歯科衛生、それぞれの専門家から、解説していただく『審美歯科のQ&A「こんな時どうする?」』を企画しております。是非、皆様の明日の診療に活かしていただければと考えております。



大会フライヤー

本大会ではポスター形式による一般演題を募集しておりますが、従来の臨床研究を含む研究発表や症例報告に加え、『ケースプレゼンテーションー認定医・認定士を目指す会員の症例報告ー』として、認定医・認定士を目指す会員の方を対象に、日常の診療で行う術式や手技、その治療過程を発表していただくことを趣旨としたテーマでの演題も募集しております。

その他にも、理事長講演、学術講演委員会企画講演、市民公開講座、企業展示、会務報告・表彰式も予定されております。

大会両日とも予定しているランチョンセミナーや大会1日目に予定している会員懇親会は会場すぐ近くの鹿児島サンロイヤルホテルで準備を進めております。懇親会については感染症対策のため事前登録制とし、人数制限をさせていただきますことをご承知ください。

教室員一同、皆様をお迎えする準備を鋭意進めております。12月に鹿児島で皆様と笑顔でお会いできることを、楽しみにしております。



大会会場の川商ホール



桜島

海外学会参加報告

2022年韓国歯科審美学会 (KAED) 学術大会に参加して 大阪大学大学院歯学研究科クラウンブリッジ補綴学分野 若林一道

2022年11月27日、Wongun Chang会長、KIM CHONG HWA 大会長のもと、ソウルのCOEXで第35回韓国歯科審美学会 (Korean Academy of Esthetic Dentistry) 学術大会が開催されました。

日本歯科審美学会 (JAED) は、韓国歯科審美学会 (KAED) および American Academy of Cosmetic Dentistry (AACD) と姉妹協定を締結しており、演者の交流を行っていますが、2022年度はまだコロナ禍の中でしたので、演者の派遣は行いませんでした。そのような状況の中、両学会の交流を深めるため、JAEDからは、中村隆志先生 (大手前大学)、若林 (大阪大学) が参加しました。

今回の学術大会の主なポイントは「これまでの講演内容が上位1%のみができるハイエンド審美治療であったならば、今回は開業医の90%が共感できる、早くてもクオリティの高い“効率性のある審美”を扱った」ということでした。そのため、学術大会のテーマも「審美の外道 Efficiency」と、とてもチャレンジングなタイトルでした。日本の補綴系の学会と同じく、KAED学術大会においても、デジタル関連の発表が多く行われていました。加えて、学生さんによるデジタル関連の発表もあり、例年のように、若い方々が積極的に学会に参加され、今回の学術大会のテーマのようにチャレンジングな構成となっていました。

本年度の日本歯科審美学会学術大会は西谷佳浩大会長のもと、鹿児島で開催されますが、KAEDの先生方と話をした際に、韓国から距離的に近いこともあり、多くの先生が参加したいと言っていますとのことでした。また、2023年2月6日には、KAEDの先生方が、私の所属する大阪大学歯学部を見学に来られ、Japan-Korea International Mini Symposium in Dental Esthetics を開催しました。本ミニシンポジウムには、KAEDから38名もの先生方が参加されました。

2023年11月12日開催の韓国歯科審美学会学術大会には、JAEDから、山本一世新理事長にご講演いただくこととなっています。KAEDのパワーに負けないよう、また、長く待った国際交流の再開ですので、是非、皆さまも韓国審美学会にご参加ください。



左から、西山貴浩先生(大阪大学)、中村隆志常任理事、Wongun Chang会長、若林、KIM CHONG HWA 大会長



学生さんたちによる発表



大阪大学歯学部で開催された、Japan-Korea International Mini Symposium in Dental Esthetics

セミナー報告

2022年度第2回学術講演セミナー報告

学術統括委員・歯科医師部門学術講演委員会 委員長 石川明子

学術講演委員会主催の第2回学術講演セミナーを令和5年3月12日(日)に開催しました。今回は、コロナウイルス感染の終息が見込めないことを鑑み、前回と同様にZoomによるリアル配信で行いました。

企画テーマは、一連の極めるシリーズ「審美的歯周形成外科とそのメンテナンスを極める」とし、演題1では、高田智史先生(医療法人オアシス高田兄弟歯科・矯正歯科/副院長)に「審美的歯周形成外科を極める～歯頸線を揃えるためのA to Z～」を、演題2では、南里佳先生(医療法人オアシス高田兄弟歯科・矯正歯科/歯科衛生士)に「審美的歯周形成外科とそのメンテナンスを極める～審美的歯周形成外科を成功に導く歯科衛生士の役割～」をご講演していただきました。今回の企画は、同じ歯科院内での歯科医師と歯科衛生士の見応えのある連携したプレーの歯周形成外科とその後のメンテナンスに焦点を当てています。高田先生は、きれいな口腔内写真の術前・術後の臨床例を提示され、また南先生は大変わかりやすい講演で明日からの臨床にすぐ活かせるとの講演後のアンケートで評価されております。講演後は、臨場感あふれる活発な質疑応答になりました。

オンデマンドではなかったものの事前登録者数447名、視聴者数383名の参加者があり、協賛企業のご協力も得ることができ、お礼申し上げます。

アンケート集計結果では、参加者内訳が歯科衛生81%で273名、今後の開催方法については、Zoom開催あるいはハイブリッド方式を、また今後の希望演題は、ホワイトニングが多数挙がる結果となりました。新年度の学術講演委員会に申し送り事項としたいと思います。



2022年度 第2回学術講演セミナー

委員会報告

編集委員会

会員の皆様におかれましては、平素から「歯科審美」の発行にご協力頂き、感謝申し上げます。編集委員会は、2023年6月11日の総会から新体制となりました。編集委員会の基本方針としましては、原著論文の投稿数を増加させることに主眼を置きたいと考えております。もちろん、臨床系の学会ですから、症例報告も歓迎するところです。

学術団体である日本歯科審美学会の役割は、学術大会の開催による会員相互の知識の共有と、歯科における基礎ならびに臨床への新たな知見の蓄積が挙げられます。さらに、学術雑誌を発行することによって、得られた知見をより多くの会員に理解いただくとともに、広く世に問うことも重要です。これまで同様に、特集などによって現在の歯科臨床の最先端の話題を取り上げることも大切ですが、学術雑誌の有している使命を果たすためにも、原著論文の投稿を広く呼び掛けたいと考えております。

そのためにも、若手研究者による学術大会における発表内容を、コンサイスにまとめていただき、これを積極的に原著論文として投稿いただくことをお願いしたいと思います。また、本学会では優秀論文賞も準備されており、①優秀研究論文賞、②優秀臨床論文賞、および③優秀症例論文賞があります。是非とも、若手研究者の登竜門として活用いただければと考えております。

(委員長 宮崎真至)

国際渉外委員会

2023年～2024年度につきまして、現在分かり得ている国際的な活動をご報告申し上げます。

International Federation of Esthetic Dentistry (IFED) 関連では、第13回学術大会が2024年にイスタンブール(トルコ)にて開催される予定です。是非多くの先生方にご参加頂ければと思います。詳細につきましてはIFED HPでご確認ください(<https://www.ifed.org>)。

Asian Academy of Aesthetic Dentistry (AAAD) は、第17回学術大会を2023年秋頃にコロンボ(スリランカ)にて開催予定です。現在、AAADは正式なHPが稼働しておらず、広報はフェイスブックを通して行われます(<https://www.facebook.com/AsianAcademyofAestheticDentistry/>)。日本歯科審美学会の会員の皆様へは、詳細が決まりましたら改めて国際渉外委員会よりご報告致します。

Korean Academy of Esthetic Dentistry (KAED) とは、コロナ禍での交流中断を経て、2022年に非公式ながら交流を再開致しました。2023年からは正式に講師の派遣が再開され

ます。演者の派遣は1年おき（韓国と交互）の取り決めで、2023年は日本審美歯科学会より韓国へ講師を派遣予定です。KAEDの学術大会へも是非ご参加下さい。

American Academy of Cosmetic Dentistry (AACD) とは、残念ながらコロナ禍を境に交流が中断しています。例年4月頃に学術大会が開催されますので、ご参加の先生におかれましては、是非AACDでの学びを会員へお聞かせ下さい。委員会としては、学会間の交流が再開するまで、今期も努力を続けて参ります。

2年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(委員長 田上直美)

国内渉外委員会

前期につづき国内渉外委員長を拝命した中村です。日本歯科審美学会の社会連携事業の一つとして、平成22年度に始まった歯科審美学の出張講義も、2022年度は北海道から九州にわたる全国47歯科衛生士養成校、4歯科技工士養成校、計51校から申し込みを頂きました。そのうち、オンライン講義希望は8校でした。この3月をもって2022年度の出張講義が完了したことを報告させていただきます。出張講義に関しては、各校からきわめて高い評価とお礼の言葉をいただいております。講師を担当いただいた会員の先生方には深く感謝申し上げます。

2023年度もこの出張講義を継続することが機関承認されました。引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(委員長 中村隆志)

学術講演統括委員会報告

学術講演統括委員会は、今期も私が委員長を務めさせていただくことになりました。二期目となりますがよろしくお願いいたします。なお、他の委員会メンバーも変更なく、石川功和先生(副理事長)、中村映子先生(副理事長)、および石川明子先生(常任理事)の4名で構成されております。また、この委員会は、歯科医師 学術講演委員会(石川明子委員長)と歯科衛生士・歯科技工士 学術講演委員会(中村映子委員長)の両委員会を統括する役割を担い、学術講演委員会は、学術講演セミナーの企画と運営を担当し、審美歯科治療の最新情報を提供できるように努力して参る所存です。

これまで、2019年の年末から始まったCOVID-19の拡大防止の観点から2020年に予定された学術講演セミナーは2度にわたり中止となりましたが、2021年3月に、本学会初となるオンデマンド配信による学術講演セミナーを開催いたしました。その

後もCOVID-19は収束の兆しをみせない状況が続いたため、学術講演セミナーはオンラインで開催されてきたことは皆様ご存知のとおりです。過去2年間のオンラインセミナーを振り返りますと、2021年3月に2週間オンデマンド配信された「はっきりさせたい歯周病と付着(接合)上皮内マージンの違い(行田克則先生)、補綴修復材料を考えたプロケア(小林明子先生)」、2021年5月30日に特別セミナーとしてライブ配信された「ダイレクトボンディングの新潮流2021(保坂啓一先生)」、2021年12月16日に「口元の審美意識が健康寿命を延伸する」をテーマにライブ配信された「化粧品療法が健康寿命に及ぼす影響～口腔ケアのススメ～(池山和幸先生)、学会主導型研究報告・口元の審美意識が健康寿命に及ぼす影響の調査報告(藤澤政紀先生、磯貝知範先生、窪田佳寛先生)」、2022年3月13日に「マイクロデンティストリーを極める」をテーマにライブ配信された「適合精度が生み出すEsthetics と Longevity ～なぜ補綴領域にマイクロスコープが必要か?～(菅原佳広先生)、顕微鏡下の精密コンポジットレジン修復 ～その可能性と限界～(三橋純先生)」、2022年7月24日に「ホワイトニングを極める」をテーマにライブ配信された「セルフケア製品の製品設計と期待効果(西川昌弘先生)、復習・失活歯漂白(友田篤臣先生)、ホワイトニングを活用した予防戦略ーオーラルケアの重要性ー(茨木浩子先生)、審美治療をする際の歯科関係者の倫理観ー特にホワイトニングについてー(真鍋厚史先生)」、2022年6月26日に特別セミナーとしてライブ配信された「審美修復治療における歯周組織との調和を目指してーNot How, but Why?ー(六人部慶彦先生)」、そして2023年3月12日に「審美的歯周形成外科とそのメンテナンスを極める」をテーマにライブ配信された「審美的歯周形成外科を極める～歯頸線を揃えるためのA to Z～(高田智史先生)、審美的歯周形成外科とそのメンテナンスを極める～審美的歯周形成外科を成功に導く歯科衛生士の役割～(南里佳先生)」、以上となります。オンライン開催についてはメリット、デメリットが数々あげられますが、COVID-19が本年5月8日から5類感染症となることから、現地開催のメリットを優先し、今年度からは対面方式で学術講演セミナーを開催したいと考えております。対面開催にあたり、感染防止対策を十分配慮した状態で開催したいと思っております。また、会場に足を運べない方へはオンデマンド配信について検討させていただきますので、学術講演セミナーにご参加いただきたく今後ともよろしくお願い申し上げます。

(委員長 新海航一)

ホワイトニングコーディネーター委員会

第54回・第55回ホワイトニングコーディネーター講習会も、第53回と同じく集合型での開催は難しいと判断し、オンデマンド配信(2週間)で予め講習会を受講したのち、東京2会場、大阪1会場で筆記試験を実施する形式をとりました。第54回は428名、第55回は364名の方が合格しました。おめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、政府は2023年5月8日から、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行しました。この政府の方針を受けて、第56回は、講習会・筆記試験を同日同会場で行う、従来の集合型で実施する方向で計画をしているところです。講習会などのオンデマンド形式によろやく慣れたところですが、集合型の醍醐味である、直接顔を会わせ、同じ志を持つ者同士の熱意や活気をお互いに受け取りながら講習会・筆記試験ができることは、ホワイトニングコーディネーター委員会としてもとても嬉しいところです。なお詳細は、ホームページにてお知らせいたします(<https://www.jdshinbi.net/academic/whitening/>)。

本委員会では現在、「ホワイトニングコーディネーター講習会テキスト」の改訂に着手しているところです。新規ホワイトニング材の発売に伴い内容を追加更新し、また、筆記試験後の受講生のアンケートを参考にして表記の統一などの見直しを進めております。これからも多くの歯科衛生士の皆さんに、本講習会をきっかけにしてホワイトニング業務に自信を持ってあたって欲しいと思います。皆様、今後とも委員会へのご指導ご鞭撻をどうぞ宜しくお願いいたします。

2023年6月の役員交代にあたり、本委員会委員長を二期に渡り務められ、ご指導くださいました大森かをる先生に心より感謝申し上げます。
(委員 下田哲子)



第54回ホワイトニングコーディネーター認定試験(東京会場)

表彰選考委員会

2023年度功労賞として、2名の先生が受賞されましたことをご報告申し上げます。

佐野英彦 (元常任理事、第23回学術大会・第12回AAAD大会長)

永瀬佳奈 (前理事)

(五十音順／敬称略)

(委員長 橋場千織)

表彰委員会

第33回日本歯科審美学会学術大会 (新潟) において以下の表彰事業を行いました。受賞されました先生方、誠におめでとうございます。

〈学会功労賞〉

桑原 栄

〈学会功労賞〉

奈良陽一郎 (理事)

〈優秀発表賞・デンツプライシロナ賞〉

糸田理紗 (大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座)

〈優秀発表賞・スタートアップ発表賞〉

篠崎百合絵 (大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座)

(敬称略)

(委員長 椿 知之)

広報委員会

広報委員会の大きな取り組みとして、ホームページのアップデート、ニュースレターの配信を行っており、会員の方々、学会にご賛助いただいている企業、そして国民の皆様へ、有益な情報をお送りできるように活動をしています。

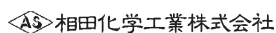
学会の活動は、個人会員の皆様のご支援のみならず、賛助会員の企業様のご支援により支えられています。

これまで本学会のホームページでは、賛助いただいています企業様の名前を記載しておりましたが、その企業様が一目でわかるように、またその企業様の事業にご興味をもたれた個人会員の方々が、スムーズに賛助会員様のホームページにアクセスできるように、改変いたしました。具体的には、賛助会員様のロゴを掲示し、そのロゴをクリックすると、各賛助会員様のホームページにアクセスできるようにしております。

日本歯科審美学会のホームページをご覧になられた際には、一度、賛助会員様のページもご覧ください。

(委員長 若林一道)

賛助会員一覧



相田化学工業株式会社
〒183-0026 東京都府中市南町6-31-2
Tel: 042-366-1201
<http://www.aida-j.jp>



石福金属興業株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-20-7
Tel: 03-3252-8471
<http://www.ishifuku.co.jp>

医歯薬出版株式会社

医歯薬出版株式会社
〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10
Tel: 03-5395-7630
<http://www.ishiyaku.co.jp>



Ivoclar Vivadent株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24
Tel: 03-6801-1301
https://www.ivoclar.com/ja_jp



ULTRADENT JAPAN株式会社
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-34-14
初台TNビル3F
Tel: 03-5365-1760
<https://www.ultradent.jp/>



クインテッセンス出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-6
クイントハウスビル
Tel: 03-5842-2270
<https://www.quint-j.co.jp>



グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1
赤坂インターシティAIR
Tel: 03-4511-8732
<https://www.haleonhealthpartner.com/ja-jp/oral-health/>

Kuraray Noritake Dental Inc.

クラレノリタケデンタル株式会社
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4
常盤橋タワー
Tel (フリーダイヤル) : 0120-330922
<https://www.kuraraynoritake.jp>



サンメディカル株式会社
〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2
Tel: 077-582-9981
<http://www.sunmedical.co.jp>



株式会社ジーシー
〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-14
Tel (カスタマーサービスセンター・お客様窓口) :
0120-416480
<https://www.gc.dental/japan/>



株式会社松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
Tel: 075-561-1112
<http://www.shofu.co.jp/>



スリーエム ジャパン株式会社
〒141-8684 東京都品川区北品川6-7-29
Tel (コールセンター) : 0120-332329
<http://www.3mcompany.jp/dental/>



デンツプライシロナ株式会社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1
住友不動産汐留浜離宮ビル5階
Tel (フリーダイヤル): 0120-789123
<https://www.dentsplysirona.com>



株式会社東京技研
〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
Tel: 03-3703-5581
<http://www.tokyogiken.com/>



株式会社トクヤマデンタル
〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9
イトーピア清洲橋通ビル7F
Tel (フリーダイヤル): 0120-54-1182
<https://www.tokuyama-dental.co.jp>



ペントロン ジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井4-13-17-5F・6F
Tel: 03-5746-0316
<https://www.j-pentron.com/>



ホワイトエッセンス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-12-18
渋谷南東急ビル11F
Tel: 03-6434-1330
<https://www.whiteessence.co.jp/>



株式会社メディカルネット
〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-34-14
宝ビル 3階
Tel: 03-5790-5263
<https://www.dentwave.com/>



株式会社茂久田商会
〒650-0047 神戸市中央区港島南町4-7-5
E-mail: info@mokuda.co.jp
<http://www.mokuda.co.jp/>



株式会社モモセ歯科商会
〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町6-35
Tel: 06-6773-3333
<http://www.momose-dm.co.jp>



株式会社モリタ
〒564-8650 大阪府吹田市垂水町3-33-18
Tel: 06-6380-2525
<http://www.dental-plaza.com>



株式会社モリムラ
〒110-0005 東京都台東区上野3-17-10
Tel: 03-5808-9350
<http://www.morimura-jpn.co.jp/>



株式会社ヨシダ
〒110-8507 東京都台東区上野7-6-9
Tel (コンタクトセンター): 0120-178-148
<http://www.yoshida-dental.co.jp>



JAPAN ACADEMY OF ESTHETIC DENTISTRY

発行人 山本 一世

編集 一般社団法人日本歯科審美学会
広報委員会

制作 三宝印刷株式会社

一般社団法人日本歯科審美学会

www.jdshinbi.net/